



# 東北大学言語学講演会

場所：東北大学 川内キャンパス 文学研究科棟 701教室

日時：2019年3月11日月曜日 16:30 ~ 18:00

# オノマトペの謎

窪菌 晴夫先生（国立国語研究所）

日本語は「ゲラゲラ笑う」「メソメソ泣く」のように、オノマトペ（擬音語、擬態語）を好む言語だと言われています。「ピカチュウ」や「ブラタモリ」などオノマトペに由来している語もたくさんあります。子供の童謡にもオノマトペが不可欠です。その一方で、謎が多いのもオノマトペの特徴です。「スクスク」と「クスクス」の意味が違うのはなぜでしょう。「ヨチヨチ」と「ヨタヨタ」の違いはどこから来るのでしょうか。本講演では日本語を豊かにしていると言われるオノマトペの魅力と謎に迫ります。

東北大学 川内南キャンパス  
文学研究科棟(地図C13)701教室



仙台市青葉区川内27-1  
地下鉄東西線国際センター徒歩5分

～窪菌 晴夫(くぼその はるお)先生～

1957生まれ。大阪外国語大学英語学科卒業後、名古屋大学大学院文学研究科修士課程修了。

エジンバラ大学大学院言語学科修了。言語学博士 Ph.D。ご専門は、言語学。南山大学、大阪外国語大学、神戸大学を経て、2010年4月より国立国語研究所教授。

『日本語の音声』、『新語はこうして作られる』、『アクセントの法則』、『数字とことばの不思議な話』(岩波書店)、『通じない日本語』(平凡社新書)、編著書に『オノマトペの謎』(岩波科学ライブラリー)など著書・論文多数。

申し込み不要・入場無料  
Admission Free

お問合せ

東北大学大学院文学研究科言語学研究室

木山幸子 (Sachiko Kiyama) ✉ skiyama@tohoku.ac.jp

主催：東北大学大学院文学研究科言語学研究室